



2018年4月23日

各位

会社名 株式会社アスラポート・ダイニング
代表者名 代表取締役社長 森下 將典
(コード番号 3069 JASDAQ)
問合せ先 法務総務部長 尾崎 富彦
(TEL. 03-6311-8892)

無担保転換社債型新株予約権付社債の引受に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、株式会社小僧寿し（本社：東京都品川区、代表取締役：小林 剛、以下「小僧寿し」といいます。）の発行する第1回無担保転換社債型新株予約権付社債（以下「本新株予約権付社債」といいます。）の引受を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本新株予約権付社債引受の理由

当社グループは、当社と連結子会社19社及び関連会社4社で構成されており、2014年度（2015年3月期）より「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、外食（販売）事業から流通及び生産事業への進出を果たし、多層的な付加価値を生み出すビジネスモデルの構築に取り組んでおります。販売事業においては、フランチャイズ加盟店もしくはフランチャイズ本部として、「牛角」「どさん子」等の外食フランチャイズを中心に、全国で813店舗（平成30年2月28日現在）展開している飲食店の運営を行っております。現在、「食のバリューチェーンを構築する」という目標を達成するため、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」の各課題へ積極的に取り組み、当社グループの事業規模の拡充に努めております。また、2017年11月27日付開示においてお知らせいたしましたが、2018年度（2019年3月期）から始まる3ヵ年の「新中期経営計画～Global Value Chain 2020」を策定し、当該中期経営計画の実現に向けて事業運営に注力しております。

小僧寿しは、持ち帰り寿司店「小僧寿し」及び「茶月」等のブランドを中心に、全国で261店舗（2018年3月31日現在）を展開しておりますが、2017年5月度に新たな成長戦略に基づく事業運営方針を公表し、「小僧寿しグループ」が持つブランド価値の最大化を成長戦略の基軸として、今以上に愛されるブランドへと進化するため消費者のライフスタイルとニーズに即した「新生小僧寿し」「新生茶月」のリブランド開発の推進、全国を網羅するフランチャイズ事業体制の再構築を進めております。更に「宅配事業」の他、「高齢者・介護関連事業」への参入を通じて、国

内外で有数のフランチャイズ企業を目指した取り組みを進めております。

当社グループは、前述の中期経営計画の施策の中で、デリバリー事業（バーチャルレストラン業態）への本格的な参入を、成長戦略の大きな柱と位置付けております。本日、別途開示でお知らせした「業務提携に関するお知らせ」のとおり、当社は、首都圏を中心とした配送拠点の共同開発、国内デリバリー市場の開拓と発展の推進、デリバリー事業のビジネスモデルの開拓を図るため、小僧寿しを当社グループのデリバリー事業の旗艦会社と位置づけ、グループの店舗網を活用し、デリバリー事業を展開してまいります。

小僧寿しの本新株予約権付社債の資金使途は、小僧寿しグループの成長戦略として位置付ける宅配事業の事業開発拠点の開設費用（具体的には、複合宅配事業の拠点を2021年2月までに30店舗超の開設を予定しており、拠点施設の差入敷金・保証金等の物件確保費用、拠点造作関連費用、厨房設備の設置費用、宅配事業機能を構築するための初期備品関連費用、宅配ライダー等の人材採用費）であります。同資金使途は、前述の当社グループのデリバリー事業への参入による成長戦略に合致し、当社グループの企業価値及び株主価値の向上に寄与するものと判断したため、本新株予約権付社債の引受を決議いたしました。

2. 本新株予約権付社債の内容

(1)	払 込 期 日	2018年5月9日
(2)	新株予約権の総数	40個
(3)	社債及び新株予約権の発行価額	社債の払込金額：金400百万円（本社債の金額100円につき金100円） 新株予約権の払込金額：無償
(4)	当該発行による潜在株式数	5,333,333株
(5)	資金調達額	金400百万円
(6)	転換価額	75円
(7)	募集又は割当て方法	第三者割当の方法によります。
(8)	利率及び償還期日	利率：0.00% 償還期日：2023年5月9日
(9)	そ の 他	本新株予約権付社債の発行については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とします。

3. 本新株予約権付社債発行会社の概要（2017年12月31日現在）

(1)	商 号	株式会社小僧寿し
(2)	所 在 地	東京都品川区西五反田一丁目3番8号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小林 剛
(4)	事 業 内 容	持ち帰り寿し事業等、介護福祉事業

(5)	資 本 金	2,769 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	1972 年 2 月 18 日		
(7)	発 行 済 株 式 数	29,754,342 株		
(8)	決 算 期	12 月 31 日		
(9)	従 業 員 数	(連結) 50 名		
(10)	主 要 取 引 銀 行	-		
(11)	大 株 主 及 び 持 株 比 率	株式会社アスラポート・ダイニング	13.76%	
		株式会社ラックランド	2.28%	
		株式会社SBI証券	1.91%	
		マネックス証券株式会社	1.57%	
		楽天証券株式会社	1.31%	
		村上直樹	1.27%	
		田籠鶴己	1.04%	
		小僧寿し本部取引先持株会	0.63%	
		山田博之	0.61%	
		安藤孝子	0.50%	
(12)	当 事 会 社 間 の 関 係			
	資 本 関 係	当社は小僧寿し株式 4,093,211 株（発行済株式総数に対する割合 13.76%）を保有しております。		
	人 的 関 係	当社の代表取締役社長の森下将典、代表取締役会長の檜垣周作及び従業員の良本宜之が小僧寿しの取締役を、当社の取締役の小林剛が同社の代表取締役社長を兼任しております。また、当社の取締役の齊藤隆光と当社社員の尾崎富彦が、同社の監査役を兼任しております。		
	取 引 関 係	当社と小僧寿しは 2016 年 12 月 1 日に業務資本提携契約を締結しております。また、当社と同社は事務所の賃貸借取引があります		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	上記の資本関係、人的関係及び取引関係から、小僧寿しは当社の関連当事者に該当します。		
(13)	最 近 3 年 間 の 連 結 経 営 成 績 及 び 連 結 財 政 状 態 （ 単 位 ： 百 万 円 ）			
	決 算 期	2015 年 12 月 期	2016 年 12 月 期	2017 年 12 月 期
	連 結 純 資 産	897	755	264
	連 結 総 資 産	2,480	2,010	1,526
	1 株 当 たり 連 結 純 資 産 (円)	30 円 13 銭	25 円 06 銭	8 円 84 銭

連 結 売 上 高	6,054	5,461	5,411
連 結 営 業 利 益 又は営業損失(△)	82	△83	△352
連 結 経 常 利 益 又は経常損失(△)	44	△73	△358
親 会 社 株 主 に 帰属する当期純損失(△)	△72	△150	△482
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 損 失 (円)	△2円45銭	△5円7銭	△16円22銭
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	-	-	-

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2018年4月23日
(2) 契約締結日	2018年4月23日
(3) 払込期日	2018年5月9日(予定)

5. 今後の見通し

当期の業績に与える影響は軽微と考えられますが、中長期的に当社グループの業績向上に寄与するものと考えております。

以上